



一般社団法人
富山県作業療法士会
ニュース

平成29年度 No.2 第125号 平成29年9月26日

発行 一般社団法人
富山県作業療法士会
会長 田村良子
印刷 (株) チューエツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

富山県作業療法士会会員数：620人

理事会は広報も行っています

一般社団法人 富山県作業療法士会 事業局長 作田 清子
(市立砺波総合病院)



理事会のリレーコラム2回目の登場になります。ちょっと何を書いて良いか迷ってしまいます。確か11名で発足した県士会も現在615名の大所帯になりました。法人化した事によって、

信頼される会になり補助金も時々頂けるようになりましたが事業の運営や会員の管理だけでも大変な仕事になっています。皆さん異動などあった場合は速やかに報告してくださいね。

私は現在事業局長をしています。事業局には普及指導部と制度対策部があります。制度対策部の中には、保険委員会、認知作業療法推進委員会、生活行為向上マネジメント推進委員会、福祉用具相談支援事業推進委員会、災害リハビリテーション支援チーム推進委員会、訪問リハビリテーション推進委員会の6つの委員会が属しています。トータル7つの部・委員会があります。

昨年まで県の事業として「リハビリ従事者業務啓発事業」の補助金を頂いていました。

その補助金を利用して普及指導部では「作業療法士体験会」を企画しました。毎年呉東と呉西の二箇所で作業療法の説明・体験・座談会を行い40名～60名くらいの高校生や保護者の皆さんに参加して頂き好評を得ています。以前はばらばらに各施設で見学を行っていたものをいってに引き



受けているのでOTの皆さんからも好評を得ています。今年の新人が約40名いたとこのことで、少しはお役に立っているのでは



はないかと思っています。補助金は終了してしまいましたが、事業は県士会費で継続して今年も行いました。今年は呉西地区が終わった時点で、マスコミの取材として、TV1本、新聞社2本あり、TVはお昼と夕方のニュースに取り上げてもらいました。皆さん見ていただけましたか？昨年までは24時間TVにも協賛していたんですよ。気が付いていましたか？患者さんから新聞やTVに載っていたねと言われるとうれしくなってしまいます。

また理事会のほうではパンフレットを作成したりのぼり旗を作成したり、クリアファイルも作成しました。皆さんご存知ですか？事務局にありますから、研修会や14歳の挑戦の時には使ってくださいね。

また広報の良いアイデアがあったらお近くの理事の方に提案してみてくださいね。



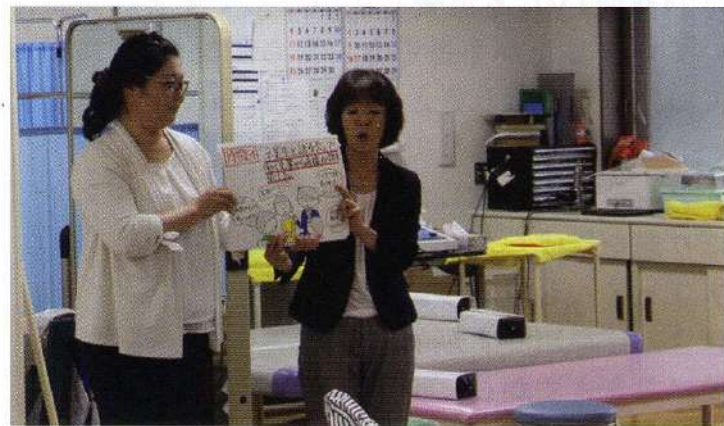
作業療法士体験会に参加して

川田病院 藤永 賢人

7月23日に厚生連高岡病院にて作業療法士体験会が開催されました。県内多数の高校より今年は25名が参加しました。自身が進路に悩んでいたときのことを思い出し、そんな高校生に少しでも作業療法士のことを伝えたいなと思っていました。



体験会では、まず作業療法の概論と老年期、精神、発達各分野の説明をスライド発表しました。今回、精神分野の発表を担当させていただきましたが、約10分の時間で精神科作業療法について説明することは非常に難しく、試行錯誤してスライドを作成しました。発表することで普段どのようなことを行っているかを改めて振り返ることが出来て良い体験になりました。作業療法体験では、まず箸の操作についてグループワークを行い、考



察後は実際にバネ付箸を使用した片麻痺体験を行いました。バネ付箸が使いやすいという意見があれば、逆に普通の箸が良いという意見があり、その際に先輩作業療法士の方が「対象者によって能

力が違うため、アプローチの仕方が変わってくる」とアドバイスし、作業療法の視点について学ぶ機会になったと思います。座談会では「理学療法士との違い」や「専門学校と大学との違い」など知りたいことを積極的に聞く姿が見られ、有意義な話し合いの時間になっていました。

作業療法士になり、普及指導部として初めて体験会に参加させていただきました。作業療法士のことを伝えたい気持ちは強くありましたが、実際に高校生を前にしてみるとどのように伝えれば良いのか考えがまとまらず上手に伝えることが出来



なかったなと実感しました。しかし、体験会のアンケートで「進路の参考になった」や「作業療法士になりたい気持ちが強くなった」との感想を見て、この体験会を通して作業療法士の魅力が伝わったことに嬉しさを感じました。今後少しでも魅力を伝えていけるように、自身の考えをしっかりと持っていきたいなと思いました。



子どもの手先の指導法の研修会

(発達障害部会)に参加して

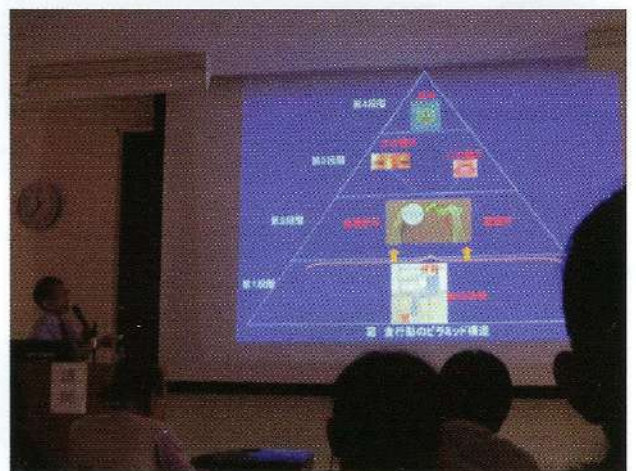
国立病院機構 富山病院 橋場 彩乃

今回「気になるこどもの“できた!”が増える体・手先の指導法」をテーマとして、神奈川県立保健福祉大学大学院の笹田先生に来ていただき、子どもの学校生活をサポートする体の動きの指導方法について、講演していただきました。

講演での「体の使い方」とは、学校生活で必須となる、筆記用具を使う・食事で箸を使う・体操服に着替えるなどの場面での動きのことでした。学校で必須となる動きを習得することで子どもの自己肯定感が芽生え、体を作っていくことが感情のコントロール・コミュニケーション、ゆくゆくは学習の支援につながっていくと教えていただきました。動きの支援は、学校・家庭・作業療法士などが包括的に子どもを支援していく必要があります。そのためには、子どもに関わる人々が共通して使える、動作分析のツールが必要と教えていただきました。ツールは、①姿勢 ②操作 ③見る ④認知の4段のピラミッド構造です。①から整えていくことで、どこに動作が苦手になる原因があるか探していく分析方法です。箸を使う時は、服を着替える時はなど、実際の場面ごとに分析の仕方と、解決のための体操を教えていただきました。私もこれまで、学校の先生と担当している子どもについて話をする際に、どうすればお互い分かりやすく情報交換ができるのだろうか、と、難しさに悩んだ経験があります。今後のこのツールを活用して、学校との連携に役立ててみたいと思いました。

また、笹田先生は「賢い体づくり」もキーワードとしてお話してくださいました。「体づくり」をしていくことが、学習、コミュニケーション能力を高めることにつながるため、学習と運動を切り離してはいけないということです。子どもの学習支援をしていく上での基礎的なことですが、私自身を振り返ると、子どもと関わる時に学習面・身体面を別々に捉えてしてしまうことが多いなと、気づくきっかけになりました。

今回の講演で学んだことは私にとって、子どもと関わる際に必要な視点を改めて気づくことと、これからの治療のたくさんのヒントとなり、とても勉強になりました。今回学んだ内容をこれから生かして、保護者、学校の先生と密に連携しながら子どもを支援できるように成長していきたいです。



介護老人保健施設レインボーは、富山市水橋の8号線付近に位置します。施設周辺は、のどかな田園地帯で2・3階の食堂の窓からは立山連峰や北陸新幹線が一望できます。

施設には水橋南地域包括支援センターが併設されています。

施設定員は入所100床（ショートステイ含む）、通所35名でスタッフはOT4名、PT3名、ST1名の計8名です。

当施設は3階建ての建物で、1階は通所、2階3階は入所となっています。年間行事としては通所・入所合同で毎月行う誕生会、春の風船バレーボール大会、秋の運動会、各階で行う季節ごとの外出会や毎月1回音楽療法士による音

楽療法など様々な行事があり、利用者の皆さんの楽しみの一つとなっています。

当施設のリハビリ庭園は2年前に新しくなり、畑や花壇を利用した園芸療法がより充実したものになりました。それに伴い、利用者の皆さんが外に出る機会が増え、慣れ親しんだ農作業に生き生きと取り組んでおられます。また、畑で収穫した野菜を利用してのクッキングクラブを入所・通所両方で取り組んでいます。

これからも当施設の基本理念である「信頼」「安心」「共生」を基に、看護・介護などの他職種との連携を更に深め、利用者、家族、地域の皆様と共にその人らしく生活出来るようにサポートしていきます。





かみいち総合病院
能登 健司

県士会の皆さん、こんにちは、かみいち総合病院の能登健司です。作業療法士という仕事に従事してから10年が経ちました。前回の市立砺波総合病院の田中さんからバトンを受け、2回目のリレーコラムを担当させて頂く

ことになりました。引き受けたものの、実際、何を書いたらいいのか、何を伝えられるのかわからず、悩みながら記事を書いています。

作業療法士に成り立ての時は、業務や症例に追われる毎日で、仕事に対しての面白みや価値にあまり気付くことがなかったように思います。最近では年齢を重ね、職場環境や周りの環境も変わってきたことにより、少しずつ気付けるようになってきました。

現在、自分は回復期病棟で勤務をしています。以前と比べると戦時中のお話を聞かせてもらう機会が少なくなったと思います。おそらく、実際、戦争を体験された方々の高齢化が大きな要因だと思います。そんな中、90歳前後の高齢者からの実体験の数々を聞くと、過酷な時代を通り抜けてきた方々への尊敬、自分達の置かれ

ている平和な環境に感謝します。戦時中の話だけではなく、様々な職業の方、趣味に秀でている方の価値観に触れることで、新たな発見や自分自身の考えに幅を増やすことが出来る作業療法士という仕事は素晴らしいと思います。決して、今後も楽しい、嬉しい事ばかりではないと思いますが、仕事や様々な人生経験を経て、作業療法士として、人間として成長したいと思っています。

話は変わりますが、今年で県士会教育部長を務めさせて頂いてから6年目を迎えます。基本的な仕事は、生涯教育制度の中の現職者研修運営、企画です。毎年同じテーマを扱っているため、決まりきった仕事になりやすいですが、その中でも講師の先生とのやり取りや新入会員さんの様子を見てると刺激を受けます。皆さんは県士会では何部で、どういう役割を持っていますか？仕事を抱えることは大変なことかもしれませんが、その分だけ、自分にプラスになる事も多いと思います。この記事を読んだ方が少しでも自身の殻を破っていただけたら嬉しいです。

最後に、リレーコラムのバトンを尊敬する同志の会員に渡したいと思います。職場が異なっても同じ思いで対象者と向き合っている作業療法士がいると思うだけで気持ちが強くなります。では、よろしくお願いします。

会員異動等

種類	氏名	旧所属	新(現)所属	備考
異動	藍口あゆみ	ひばり訪問看護ステーション	ケアサークルこかげ	
異動	片口 綾子	ひばり訪問看護ステーション	ケアサークルこかげ	
異動	鹿熊友加子	富山協立病院	老人保健施設 ちょうろく	
異動	向野 一樹	シルバーケア栗山	となみ三輪病院	
異動	林 かおり	川田病院	駅南あずさ病院	
異動	湯浅 瑞恵	駅南あずさ病院	川田病院	
異動	浦本 藍子	新川病院	新川老人保健施設	
異動	野澤奈美子	新川老人保健施設	新川病院	
異動	安川 千耶	西能みなみ病院	西能病院	
異動	角畑 智彬	真生会富山病院	富山リハビリテーション医療福祉大学校	
異動	増田 崇人	介護老人保健施設みどり苑	西能病院	
改姓	本多 智美			旧姓 溝口
改姓	江渕 亜依		老人保健施設 しきのケアセンター	旧姓 藤井
改姓	山本 己浦		横田病院	旧姓 藤井
改姓	松村 彩華		富山県リハビリテーション病院 こども支援センター	改姓 多賀
改姓	辻 優		介護老人保健施設 ケアポート庄川	旧姓 成瀬
退会	今井 清子	老人保健施設ちょうろく		
退会	高田 真希	となみ三輪病院		
退会	清水こず枝	西能病院		
退会	湯口 美香	老人保健施設さくら苑		

地域で活躍できる作業療法士を増やそう！

～地域アドバイザー推進委員会上半期活動報告～

委員長 橋爪 佳美

要支援者とその前段階にある虚弱高齢者を対象にした介護予防の目玉「日常生活支援総合事業」（総合事業）が県内各市町村で本格導入され始めました。介護予防・自立支援の観点から、リハビリテーション専門職の積極的な関与や支援がより一層求められています。

当委員会では、まずは制度や自分たちの地域の実情を知ること、地域ケア会議や総合事業に生かせる作業療法士の強み（専門性）を私たち自身が再認識し、共有すること、そしてそれを市町村や関連他職種にPRし、顔の見える関係作りを行なうことを今年度の目標とし活動しています。

上半期は、各地区ごとに県士会員に呼びかけ、勉強会や座談会形式で、総合事業の概要について学び、参加者の地域での活動について情報交換等を行ないました。

新川地区 8月23日開催 参加15名

富山地区 8月3日開催 参加20名

（内、PT3名・ST1名）

砺波地区 7月5日開催 参加16名

高岡地区 6月23日開催 参加18名

一部の地区や施設では、行政や地域包括支援センターとのつながりができており、定期的な地域ケア会議への出席や介護予防教室等の講師をしている所もあります。しかし、まだまだ、依頼が少ないのが現状です。一方で、いざ依頼がきたとしても作業療法士としての役割がちゃんと果たせるのかという不安の声が、どの地区からもきかれました。

また、職場の理解をどう得るか、行政とのつながりをどう作っていけばよいのかなどの悩みもき

かれました。これらの不安や悩みを解消できるような委員会活動が必要です。

一つの試みとして、富山地区では、すでに地域で活動している会員からノウハウを学ぼうと、“模擬介護予防教室”を行ないました。体操等を実際に行ないながら、作業療法士らしさ（認知面への関わり、コミュニケーション技術、生活行為のワンポイントアドバイス等）を織り込んでいく視点について学びました。参加者からは、「進め方のポイントがわかりやすかった」「近々講師をする予定なので大変参考になった」「とにかく楽しかった」「PTがやると硬い感じになるのでOTの柔らかさがいい」「こういう機会を今後も設けてほしい」などの感想をいただきました。

上半期の活動を踏まえ、下半期も各地区ごとに勉強会や情報交換会等を企画します。今回参加されなかった人も是非参加してください。他地区への参加也大歓迎です！



「模擬介護予防教室の様子」

地域で活動されている会員の皆さんにお願い

地域で活躍できる作業療法士を増やすために、すでに地域で何らかの事業に関わっておられる方は是非そのノウハウを教えてください。一人ひとりの活動を集約し県士会で共有できたら、「作業療法」がもっともっと広がっていくと思います。

8月に配布された連絡網を利用され近くの地域アドバイザー委員にご一報ください。

ご協力をお願いします。

福祉用具相談支援システムの活用

富山県士会員が福祉用具相談支援システムを利用できるようになり、3年過ぎました。このたび相談アドバイザーが追加されて10名となり、多彩な顔ぶれが揃いました。新しい体制で取り組んでゆきます。富山県士会ホームページに相談アドバイザーが紹介されていますので、ぜひご覧ください。

このシステムでは福祉用具の適応・選定等に関する相談だけでなく、作業療法士の視点から環境整備や他職種の働きかけなどの問題点、ささいな疑問なども共に考えてゆきます。一方、OT協会の研修資料やこのシステムでの相談サマリーも見ることが出来ますので、これらのなかに参考になることがあると思います。

日頃皆さんはOT活動の中で身近にある用具の利用や動作の工夫で問題点が解決した事を体験されているのではないのでしょうか。そんなちょっとした工夫や動作の仕方であまくいった、あるいはいかなかった例などもこのシステムで県士会員に知らせ情報を共有してゆきたいと考えています。

このシステムの利用には登録が必要です。「福祉用具相談支援システム」から「新規利用登録」へお進みください。

このシステムを通して福祉用具や日常生活動作の課題に関して共に学んでゆきましょう。

2017年9月

福祉用具相談支援システム：富山県士会代表アドバイザー 澤木 佳子

災害リハビリテーション委員会よりお知らせ

この度、富山県作業療法士会のHPに災害リハビリに関する項目を追加する予定です。

内容は、研修会や厚労省他からの情報をのせる通信欄と日本作業療法士協会の災害リハビリにリンク出来るように考えております。

今後、災害時でも有効活用できる掲示板としても検討を加えていきたいと思いますので、適時、閲覧して頂ければと思います。

広報部からのお知らせ

県士会ホームページの「県士会活動」の中に協会事業の研修会や委員会の報告を掲載していく予定です。また県士会主催の研修会や行事に関する報告も随時掲載していく予定です。

またトップページに「災害支援リハビリ」のページも作成しました。

新入会員の横顔

1. 名前
2. 施設名
3. 出身校or旧所属施設
4. 趣味・特技
5. 好きな店・おすすめの店
6. OTとして働いてみての感想
7. 今後チャレンジしたいと思っていること



1. 渡邊 雅行
2. 青池学園 富山リハビリテーション医療福祉大学校
3. 常葉大学（静岡県浜松市）
4. 趣味：ウォーキング、市民マラソン、温泉めぐり
特技：ネパール語会話
5. 季節料理 あじち、HOTORI×ほとり座
6. 作業療法士資格を取得し、

いつの間にか30年以上が経ちました。総合病院、温泉病院、精神科病院、老健、身体障害者療護施設などで勤務しました。クライアント一人ひとりの個性、社会状況、疾病構造等の変化があります。いつも作業療法の学びの必要性を感じ、作業療法の魅力にひかれています。

7. 20代で青年海外協力隊、30代で専門家として国際協力に関わりました。現在は、国際協力機構（JICA）技術顧問、NGO代表を務めています。国内外の障がい児者支援とリハビリテーション分野の国際協力を長く続けていきたいと思っています。



1. 吉原 有佐
2. 富山リハビリテーション医療福祉大学校 作業療法科
3. 専門学校社会医学技術学院
4. 庭造り
5. 富山に来てまだ間もないですが、「ばんだばんだ」が好きです。

6. 教員としての感想ですが、学生は元気で学ぶ意欲にあふれており、こちらも元気になります。
7. 娘とピアノを習うことです。



1. 石原 早紀子
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. （旧所属施設）信州大学医学部附属病院
4. 読書、映画鑑賞
5. 雑貨屋
6. OT8年目になりましたが、分からないことがまだまだたくさんあると痛感しています。

回復期で働くことも初めてなので、新しい知識を得ながら頑張りたいと思います。

7. 認定OTを取ること



1. 工藤 遥
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. 金城大学
4. 旅行、温泉
5. かめ蔵
6. 大学で学んできた基礎知識の重要さと、患者様個人に合わせたリハビリテーションを行う難しさを痛感しています。

7. 屋久島登山



1. 田守 春香
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. 専門学校金沢リハビリテーションアカデミー
4. YouTube鑑賞
5. かめ蔵 私に似た店主が営む魚が美味しいお店です。
6. 毎日大変ですが、楽しみな

7. 髪を伸ばす



1. 丁子 雄希
2. 学校法人青池学園 富山リハビリテーション医療福祉大学校
3. 新潟医療福祉大学 社会福祉法人恩賜財団済生会石川県済生会金沢病院
4. 釣り
5. 寿司屋 松の
6. 臨床経験12年が経ち、今年からOT養成校の教員に転職

しました。教員としてまだまだわからないことだらけですが、少しずつ励んでいきたいと思っています。

7. 英会話



1. 長澤 圭祐
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. 浅ノ川総合病院
4. 旅行、総柄の服集め
5. カホン
6. 勉強すればするほど、おもしろさ、難しさを感じます。
7. こどもと旅行



1. 三田村 未悠
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. 福井医療短期大学
4. 美味しいお店探し
5. ユニコネルモンド
6. 患者さんと関わっていると時間がたつのが早く感じます。
7. 料理



1. 南 愛理
2. アルペンリハビリテーション病院
3. 金城大学
4. 買い物、ドライブ
5. 高倉町珈琲
6. 思っていた以上に大変な仕事だと思いました。患者さんについて考える事はたくさん

ありますが、その分患者さんの笑顔が見られた時にやりがいを感じられます。

7. スノボ



1. 山田 英里奈
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. 新潟医療福祉大学
4. 旅行
5. BUTAMAJIN 韓国料理が好きなので。
6. 様々な患者様と出合いや、退院後の生活に向けて患者様と共にリハビリを進めていく

ところなどの魅力を感じつつ、努めさせて頂いています。

7. 趣味が旅行と言いながら、未だ国外には行ったことがないので、国外旅行をしたいです。



1. 稲垣 実来
2. 富山大学附属病院
3. 金城大学
4. ショッピング、映画鑑賞
5. patisserie Le Coeur
6. 難しさ、大変さを感じることもたくさんありますが、やりがいのある仕事だと思います。いろいろな疾患に対応で

きるように知識・技術向上に努めたいです。

7. 一人旅



1. 入江 由樹
2. アルペンリハビリテーション病院
3. 常葉大学
4. 読書
5. ぼてじゃこ
6. 毎日が勉強の日々で、1日が24時間ではとても足りなく感じます。
7. 車で1人旅



1. 大野 汐実
2. 西能みなみ病院
3. 金城大学
4. お笑いを観ること
5. 幸せのパンケーキ
6. 毎日が勉強で、辛いと思う時もありますが、充実した日々を送っています。先輩方からの指導を頂きながら、患

者様と沢山触れ合って経験を積み、OTとして成長していきたいと思っています。

7. ジムに通うこと



1. 中嶋 惟貴
2. 医療法人アルペン会アルペンリハビリテーション病院
3. 金城大学
4. フットサル
5. 楓（ラーメン屋）
6. 良い意味でやらなければいけないことがたくさんあり、大変ですがとてもやりがいを感じています。

7. 何でもチャレンジしたいです。



1. 桜井 遥佳
2. 山田温泉病院
3. 金城大学
4. 音楽鑑賞、サッカー観戦
5. キャセロール
6. 分からない事が多く日々勉強ですが、患者様との関わりは楽しくて充実しています。
7. 定期的に運動する



1. 田村 友里恵
2. 山田温泉病院
3. 新潟医療福祉大学
4. 映画鑑賞
5. とべーぐる
6. 楽しさと難しさを感じています。
7. いろんなところに旅行に行く



1. 大谷 奈央
2. 八尾総合病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 趣味 手芸
5. 東福寺野俱樂部
6. 知識・技術ともに不足しているので、日々勉強に励み患者様のお力に少しでもなれるよう頑張りたいです。
7. ヨガ



1. 端 海斗
2. 山田温泉病院
3. 金沢リハビリテーションアカデミー
4. バスケットボール
5. ファミリーマート
6. 難しい仕事だと感じています
7. 積極的に勉強会に参加する



1. 上銘 真由
2. 八尾総合病院
3. あいち福祉医療専門学校
4. 映画
5. おいしいお店
6. 大変。だけど、楽しい。
7. 勉強



1. 菅沼 永
2. 医療法人社団白雲会呉陽病院
3. 金城大学
4. 音楽鑑賞、読書
5. みかづき。新潟にあるお店です。焼きそばにミートソースがかかっている新潟のソウルフードを提供しているお店

です。新潟に行った際には是非寄ってみてください。
6. 分からないことも沢山ありますが、患者様や先輩に沢山助けていただき楽しく働くことが出来ています。
7. 少しずつレクリエーションの音楽や歌を取り入れていきたいと思っています。



1. 湯浅 千佐都
2. 八尾総合病院
3. 金城大学
4. 美味しいものを食べる
5. ラディーチェ
6. その人の生活、その人らしさを考える難しさを感じています。
7. 海外旅行



1. 浦田 有芽子
2. アメニティ月岡
3. 富山医療福祉専門学校
4. 古本屋めぐり／ペットショップめぐり／カラオケ。最近UVレジンを使ったアクセサリー作りにもはまっています♪
5. べこ塚はら／BUTAMAJIN お肉好きな方は是非!!

6. 知識が浅くわからないことが多いため職場の方々と利用者様の笑顔に助けられながら毎日楽しく頑張ることができています。もっと知識を増やして一人一人に寄り添えるようにになりたいと思っています。
7. 貯金、ダイエット、多くの研修に参加する



1. 朝野 真奈花
2. 黒部市民病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. ピアノを弾くこと、カフェ巡り、プチ旅行
5. 綺麗な書店・竹酔堂
6. 働き始めて約5ヶ月が経とうとしていますが、肩こりが酷いです。笑 患者さんやご家族の病気やケガが良くなってほしいという思いに、1人のリハビリ技師として協力・サポートさせて頂ける日々嬉しさと苦悩を感じています。知識・技術ともにより良いものを目指し今後も精進していきたいと思います。
7. スカイダイビング



1. 秋山 真由美
2. 医療法人社団秋桜丸川病院
3. 新潟医療福祉大学
4. 旅行
5. 特になし
6. 実際の患者様と関わってみて自分が未熟であると感じました。また、患者様の家に伺い、必要な福祉用具や家屋改修の必要性を検討し、退院後に安全に生活できるよう調整することも作業療法士の重要な役割であると実感しました。先輩方に教わりながら日々成長出来る様、励みたいと思います。

7. 訪問リハビリです。自宅での機能回復や動作練習を図り、退院後にも継続したりリハビリを行うことに興味があるため、病棟で経験を積んだ後はチャレンジしてみたいです。



1. 越野 峻矢
2. 砺波誠友病院
3. 金沢リハビリテーションアカデミー

4. フットサル
5. ピアードパパ
6. 初めて社会の場に入ったので、敬語の使い方に苦労しました。先輩や上司の良いところを学び、今後も頑張っていきたいと感じている。OTとしての仕事は楽しく、患者様の笑顔を見るとやりがいを感じます。今後も患者様の笑顔が増えるよう頑張っていきます。
7. ジムに通い、筋肉質な体作りをしていきたい。



1. 井上 真緒
2. 医療法人社団秋桜丸川病院
3. 国際医療福祉専門学校七尾校
4. 漫画を読むこと
5. テattoo
6. 初めは不安ばかりで上手くいかず、周りに頼ってばかりでしたが、徐々に自分で考えて発言できることが増えました。患者様に提案したことが

上手いきき、お礼を言われた時は大変なことも多いが、やりがいがあるなと感じました。
7. 文献などをたくさん読んで、実際にその治療を多くの患者様に提供していきたいです。



1. 田口 豊浩
2. ケアポート庄川
3. 長崎リハビリテーション病院

4. 読書 ジョギング
5. お菓子の小西 (福光にあります)
6. 利用者様、ご家族とのコミュニケーション能力やマネジメント能力を高めていけるように頑張りたいです。
7. 今年4月に富山県に来たばかりなので、いろいろな観光地に出かけてみたいです。



1. 宮田 彩乃
2. 済生会高岡病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 読書
5. 本屋
6. 毎日学びの日々で楽しいです。
7. 研修に積極的に参加して様々な知識・技術を身につけていきたいと思っています。



1. 斉藤 友香
2. 市立砺波総合病院
3. 埼玉県立大学
4. 銭湯
5. かき氷屋さん
6. 毎日楽しく充実した時間を過ごすことができています。わからないことも多いですが、そのたびに教えて頂ける環境に恵まれているので、日々成長できるように頑張りたいです。

7. 釣り



1. 北野 香花
2. 北陸中央病院
3. 国際医療福祉専門学校七尾校

4. ライブDVD鑑賞
5. らーめん真太 (南砺市福野駅前)
6. 知識不足で悩むことが多くありますが、患者様の笑顔が見れた時はとても嬉しく感じます。日々成長できるようこれからも頑張ります！
7. 料理

平成29年度 第3回理事会

場 所：谷野呉山病院

日 時：平成29年7月10日(月) 19:00～

参加者：田村・松岡・島津・小倉・吉波・橋爪・
森・丸本・松本・田邊・高林・齋藤・
古澤・桐山

〈報告事項〉

1. 高岡市医師会在宅医療支援センター「摂食嚥下研修会」開催に向けてのワーキンググループメンバーに佐賀氏(真生会富山病院)を推薦
2. 県高齢福祉課主催 平成29年度 第2回市町村職員等セミナー(7月21日)の会場が農協会館8階ホールへ変更。当日受付可。
3. 47県都道府県委員会(7月1、2日)松岡副会長、島津事務局長出席。次回は1月、OT協会作業療法モデル事業(担当 発達障害部会 渡邊氏)の報告予定。
4. OT協会運転と作業療法委員会のアンケート(主に急性期・回復期病院対象)を7月中に送付。結果については11月開催の委員会会議で報告予定(桐山理事出席予定)
5. OT協会生活行為工夫モデル事業に平成30年度参加の方向で福祉用具相談支援システム委員会を中心に準備をしていく。相談支援アドバイザーに新しく齋藤氏(南砺市民病院)、古澤氏(富山市民病院)、浜出氏(特養つまま苑)、中岡氏(矢野神経内科医院)が加わり、早川氏は退任。
6. OT協会平成29年度定時社員総会(5月28日)へ代議員(高岡、島津、丸本氏)出席
7. (公社)富山県精神保健福祉協会社員総会(5月31日)田村会長出席
8. 富山リハビリテーション医療福祉大学校 新校舎落成式(6月4日)田村会長出席
9. 富山県リハビリテーション 病院・こども支援センターグランドオープン記念式典(7月22日)田村会長出席予定
10. 作業療法士体験会(7月23日：厚生連高岡病院、8月20日：県立中央病院)開催予定
11. 富山地区アドバイザー企画「介護予防・地域リハビリを語る会」(8月3日富山県リハビリテーション病院・こども支援センターにて開催予定)

12. 健康と長寿の祭典大会長表彰候補者として松岡副会長を推薦
13. MTDLP事例登録に関する講習9月30日に開催予定
14. MTDLP北陸3県事例発表会(12月2、3日福井にて開催予定)において、県士会より5事例予定。

〈検討事項〉

1. 主任介護支援専門員更新研修受講要件に該当する研修に関する調査
次年度の調査に向けて要件を満たすよう富山県在宅医療研修会等を整備しておく。
2. ねんりんピック富山2018協賛イベントの募集
会期は平成30年11月3日～5日で、健康と長寿の祭典をかねる。普及指導事業部、担当理事で検討する。
3. 富山県看護協会 国際教育講演会「ユマニチュードを学ぶ」(10月7日開催)
県士会より5名参加可能。齋藤理事が参加者選出
4. 平成29年度富山県精神保健福祉大会大会長表彰候補者の推薦(精神科領域15年以上勤務者)
富山市民病院精神科ディケア 藤井氏に打診
5. 県士会員管理システムにかかる費用について
8月に業者より理事へ説明会を設ける
6. 県士会連絡網について
周知後にテスト連絡の予定
7. 理事会の進め方や来年度の体制等について
次回理事会にて課題を整理し検討する

平成29年度 第4回理事会

場 所：谷野呉山病院

日 時：平成29年8月21日(月) 19:00～

参加者：田村・松岡・島津・丸本・橋爪・吉波
高林・田邊・松本・齋藤・古澤

〈報告事項〉

1. 作業療法士体験会(7月23日：厚生連高岡病院)
高校生25名 保護者2名 TV・新聞報道(8月20日：県立中央病院)高校生21名 保護者2名
2. 県士会名簿システム年間サポート費－前年度と同じ月額5,000円、消費税で64,800円とする。
3. 富山県精神保健福祉大会大会長表彰－今年度は該当者なしとする。



【営業品目】

義手・義足・補装具製作修理

車いす・ストーマ・補聴器

オーダーメイド靴製作

福祉用具貸与販売



360°

あなたの世界が
広がる補聴器

オーティコン
オープン

OTICON | Opn

(株) 富山県義肢製作所
富山県補聴器センター

〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16

TEL (076) 425-4279 FAX (076) 425-4587

e-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp

介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

車椅子

➡ 480円より

ベッド

➡ 700円より

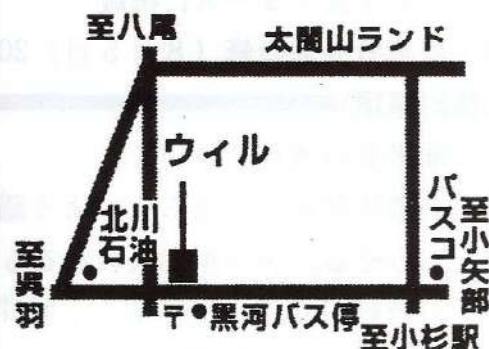
リースナブル



株式会社 **ウィル**

TEL (0766) **56-7099**

FAX **56-3395**



- ・介護予防・地域リハビリを語る会（8月3日）20名の参加。8月23日新川地区開催で4地区とも実施
- ・リハビリテーション専門職協議会（8月9日）大山地域包括支援センターからの依頼にPT酒井氏、OT新鞍氏派遣、県内地域包括支援センター（約100件）にも手引きを送付する、会員の講師等の活動把握のため毎年度末にアンケートを実施する。
- ・OT協会 地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会（9月9～10日東京－菱田）伊勢呂氏参加予定
- ・富山県看護協会 認知症ユマニチュード研修会（10月7日）認知症作業療法推進委員 中山、河原、田本、安本、河井氏参加予定
- ・富山県高齢福祉課主催 認知症サポート研修会（齋藤理事講師）（10月16日13:00～17:00）認知症作業療法推進委員と地域アドバイザー委員より10名参加予定
- ・県士会50周年記念事業報告提出－OT協会機関誌に掲載
- 1. (株)トーカイより福祉用具サービス計画書作成における講師依頼（9月16日）桐山、吉波氏に依頼
- 1. OT協会認知症作業療法推進委員会（11月18、19日）東京－齋藤理事、他1名参加
- 2. 発達障害部会研修会（7月30日）108名参加（内 教員57名）
- 3. 県士会懇親会（9月9日）現在22名の申し込み、まだ席に余裕あり
- 4. 訪問リハビリテーション研修会（8月11日）急性期から生活期同職種間連携を考えるシンポジウム、グループワーク、OT参加者25名在宅医療研修会8月27日開催（この研修事業は来年度で終了予定）
- 5. 福祉用具相談支援システム登録のお願いを次回県士会ニュースに掲載
- 3. 現職者共通研修（8月5日）20名参加

〈検討事項〉

- ・理事会の運営について
会議時間が長くないよう議事は10日前に知らせる。メールで決められるものは済ませる。21時終了厳守。予算案など時間を要するものは土曜日午後を設定する。

- 2. 役員等の手当てについて
会長、事務局長に支払う。金額は今後検討し、次年度総会に諮る。
- 3. OT協会事業の委員会、研修会等に伴う懇親会費の支給について
県士会事業運営に関わるものなので、懇親会参加も含めて派遣する。会議費として今年度から支出。理事会だけでなくホームページに報告を掲載し会員に伝達する。
- 4. 来年度理事候補者の推薦
候補に挙げた方へ会長が打診する。
- 5. 東海北陸リーダー研修会10月14、15日 三重県四日市市－5名の参加者選出
理事候補に挙げた方等に打診する。
- 6. 平成30年度「作業療法推進モデル事業」の募集－締切9月20日：今年度は応募しない

賛助会員名簿

（順不同）

会 員 名（代表者）	住 所
温泉リハビリテーション いま泉病院 （院 長 大西 仙泰）	〒939-8075 富山市今泉220 T E L 076-425-1166
(株)ウ イ ル （代表取締役 黒田 勉）	〒939-0311 射水市黒河3075 T E L 0766-56-7099
富山医療福祉専門学校 （学校長 長谷川 成樹）	〒936-0023 滑川市柳原149－9 T E L 076-476-0001
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 （理事長 加藤 真一）	924－8511 石川県白山市笠間町1200 T E L 076-276-4400(代)

編集後記

毎年、夏限定でOTで野菜を作っています。いろいろ工夫して10年以上頑張っていますが、毎年何本か病気になったり、枯れたりしていました。そんな中、去年から栄養のある土を混ぜることにしました。すると！すると！今年は1本も病気にならずにグングン育つ野菜達。トマトはスタッフの身長も超えて成長しました。

最近、リハビリ栄養やNSTが注目を浴びていますが、人間も野菜も栄養が大事である事を感じた夏でした。

（E. T）